

管内の「ゆきちから」は、既に出穂が始まっています。
赤かび病の防除適期は開花期とその7～10日後！
適期をのがさず薬剤散布の徹底を！！

村山農業技術普及課

麦類の赤かび病は、収量や品質を低下させるだけでなく、人や家畜に対して有害なかび毒（DON）を生成するため、農産物検査での混入が0.0%を超えると規格外となります。適期の防除と適期収穫、適切な乾燥調製を徹底する必要があります。



罹病穂（中央）

◎コムギの出穂状況

農業総合研究センター（山形市みのりが丘）の出穂期は、「ナンブコムギ」が4月28日、「ゆきちから」が4月30日となり、平年より8～10日早くなっています。圃場の出穂期をしっかりと確認して防除の準備を進めましょう。

◎今後の気象

5月1日発表の週間天気予報によると、5月2日から5日までは夏日となっており、開花期も早まる可能性があります。

◎赤かび病防除のポイント

赤かび病の防除時期は、**開花期とその7～10日後の2回**です。

【東南村山地域における目安】

品種	出穂期	開花期*	赤かび病の防除適期（見込み）
ゆきちから	4月30日	5月7日	5月7日と5月14～17日

*出穂期から開花期までの期間は概ね7日間程度と見込まれるが、各圃場の状況をよく確認の上、防除適期を判断する。

出穂期前後から乳熟期にかけて雨が多く気温が高いと発生が多くなるので、降雨が続く場合は雨の合間を見て防除をしましょう。

◎収穫、乾燥調製時の注意点

- 小麦の収穫時期は梅雨の時期にあたる可能性が高いため、収穫のタイミングを逃さないようにしましょう。
- 倒伏するとカビ毒の汚染リスクが高まります。倒伏した箇所は別刈りするなどの対応が必要です。
- 乾燥する前にカビが生えないように、子実水分が30%以下になってから収穫しましょう。やむを得ず30%以上で刈り取る場合は、刈取後に速やかに乾燥しましょう。

STOP!農作業事故 農作業事故防止運動春季強化期間(4/1～6/10)